

平成30年第3回鹿角市議会定例会 代表質問

□質問順位及び質問所要時間

3月12日（月）午前10時～

- | | | | | |
|---|------|----|--------|-------|
| 1 | 田村富男 | 議員 | 鹿真会・公明 | （60分） |
| 2 | 中山一男 | 議員 | 清風会 | （60分） |
| 3 | 倉岡誠 | 議員 | 誠心会 | （60分） |

□質問時間割当表

10:00		11:00	11:10	12:10	13:00	14:00
3月12日（月）	田村富男 （60分）	休憩 10分 間	中山一男 （60分）	休 憩	倉岡 誠 （60分）	

平成 3 0 年 第 3 回 鹿 角 市 議 会 定 例 会 代 表 質 問

No.1

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項		質 問 要 旨					
1	ふるさと鹿角応援寄附推進事業について	① ふるさと納税については、国の指導もあり返礼率を3割に引き下げた経緯がある。平成 29 年度の本市へのふるさと納税は件数・金額とも3割減とのことだが、県内では 11 市町村において前年度を超え、特に大館市においては5億円を超え県内一の実績を挙げている。同じように返礼率を下げてても寄附が伸びている大館市と本市との違いは何であると考えているか伺う。					
		② 自主財源を少しでも確保するとともに、地元業者の売り上げ向上のためにも身近な成功例を研究し、ノウハウを蓄積する気概を持って取り組んでいただきたいと思うが、市長の考えを伺う。					
2	産業力の強化について (1) 本市農業の担い手の現状と課題について	① 本市の農業就業人口の推移及び平均年齢はどのようになっているか。また、離農の状況を伺う。					
		② 本市の新規就農者の推移と状況、その営農形態について伺う。					
	(2) 商工業・観光業における「稼ぐ力」の強化について	③ 全国的に農業就業人口が減少する中、農業法人は増加傾向にあるが、本市の状況と法人の特徴について伺う。					
		④ 本市の新規就農者支援、農業生産組織などに対する支援のあり方について伺う。					
		① 平成 30 年度の最優先課題として、新事業である「地域商社の確立」を掲げているが、本事業の内容及びどのように進めていくのか伺う。					
		② 観光産業確立計画に基づき、「稼げる観光」を目指し、「道の駅かづの」を観光のプラットホームとして強化を進めているが、これまでの取り組みの成果と今後の本市観光の拠点としての進め方について伺う。					
		③ 平成 30 年度には「湯の駅おおゆ」がオープンするが、「道の駅かづの」と合わせ、2つの「道の駅」のそれぞれの役割と、「道の駅」を活用し、鹿角市全体の観光をどのように盛り上げていくのか伺う。					

平成 3 0 年第 3 回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	1	会派名	鹿真会・公明	代表質問者	田村 富男	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
3	子育て支援について			① 若い世代の結婚・出産に係る経済的課題を少しでも軽減するため、第1子保育料無償化など、安心して結婚・出産・子育てができる支援が有効策と考えるが、市長の考えを伺う。 ② 本市においては平成 30 年度も待機児童がゼロということで、大変喜ばしいが、全体の保育園への入園率はどの程度となっているのか伺う。 ③ 現在、小中学校の統合が進められているが、状況によっては近い将来、保育園の再編という問題も出てくると思うが、市長の考えを伺う。			
4	認知症対策について			① 昨年神奈川県大和市が全国で初めて、市内の徘徊高齢者等 S O S ネットワーク登録者を被保険者として、公費で個人賠償責任保険に加入し、万が一認知症の高齢者が電車を遅延などさせて損害を与えたりした場合に最大 3 億円を補償する事業を開始した。本市においても、認知症問題を社会問題と認識し、行政として積極的に対策を講じていく必要があると思うが、他市に先駆け、大和市のような対策に取り組む考えがないか伺う。			
5	こころと身体健康づくりについて			① 本市は、健康寿命日本一の実現に向け「10 年後、脳卒中で亡くなる方を 8 割減らします」という健康宣言をしたところであるが、若い世代から健康づくりの重要性を認識していただきながら、事業所も巻き込んだ市民運動として盛り上げていくことが、健康寿命日本一につながるものと考えているが、市長の見解と、それに基づく施策について伺う。 ② 本市は、依然として高齢者の自殺が多いと伺っている。自殺の理由は健康問題が多いと推察するが、絶対数は少ないとはいえ、自殺を減らすことで健康寿命の延伸に効果が出る可能性もあることから、自殺予防にも積極的に取り組む必要があると思うが、市長の考えを伺う。			

平成 3 0 年第 3 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	2	会派名	清風会	代表質問者	中山 一男	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項			質 問 要 旨				
1	総合計画の進捗状況について		① 総合戦略 3 年間、後期基本計画 2 年間で終わろうとしているが、これまで実施してきた「8 つの重点プロジェクト」の実績とその効果、及び総合計画全体の進捗状況をどのように評価しているのか伺う。				
2	平成 30 年度当初予算について		① これまでも、どの年度においても「目玉事業」があったが、平成 30 年度予算の目玉事業と、それを必要とする背景、財源措置、将来にわたる効果等の概要について伺う。また、同じく主なもので、目玉事業以外の新規事業や拡充した事業についても伺う。				
3	農業生産の振興について (1) 旧来の米の生産調整制度について（減反政策）		平成 30 年度以降の水田関係制度については、国からの水稻作付面積の提示から、農家の主体的な需要に応じた生産に転換された。このことは、米の市場価格を低下させないためにも、農家生産者は販売先がなければ作付ができないこととなると思われ、農家にとっても一定の目標値がなければ、混乱することが懸念される。そこで伺うが、 ① 平成 29 年度の作付率は約 56%だが、平成 30 年度の作付面積の予想はどれくらいか伺う。 ② 生産の目安について、「配分方法」「配分提示方法」「達成した場合、達成しなかった場合」など、旧制度と新制度の違いを伺う。 ③ 本市以外の米業者への米の流出も懸念され、縁故米の増加も考えられる中で、本市の米流通の実態はどのようになっているのか、その調査は行われているのか伺う。 ④ 農業力強化をさらに推進するためには、販売力の強化を強く推し進めることが必要と考えるがいかにか伺う。				

平成30年第3回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	2	会派名	清風会	代表質問者	中山 一男	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
4	(2)「淡雪こまち」について			⑤ 平成30年度から「とも補償事業の廃止」や「経営所得安定対策等制度」の変更など、新制度が施行されるが、平成29年度と比較して、農家生産者への補助金は本市ではどれくらい減少するのか。また、減少した補助金分の農家所得を補う新しい施策があるのか伺う。 ① 「淡雪こまち」の作付面積を拡大し、高価格で販売できれば、本市の農業に好環境が生まれると思うが、そのためには販売先の確保・拡大が必要不可欠であると考え。米販売業者の販売先開拓への指導助言にも力を入れるべきと思うがいかがか伺う。			
	高齢者福祉について			① 平成30年度から変わることとなる制度の概要、平成30年度以降の介護保険料の推移及び今回の介護報酬改定により、介護従事者の処遇改善は図られるのか。また、介護給付費を抑えるためには、市民の健康に対する意識付けも大事なことで考えるが、健康寿命を延ばす意味においても、市としてどのように取り組んでいくのか、その方針を伺う。			
	(1) 第7期介護保険事業計画について			① 平成30年度から変わることとなる制度の概要、平成30年度以降の介護保険料の推移及び今回の介護報酬改定により、介護従事者の処遇改善は図られるのか。また、介護給付費を抑えるためには、市民の健康に対する意識付けも大事なことで考えるが、健康寿命を延ばす意味においても、市としてどのように取り組んでいくのか、その方針を伺う。			
	(2) 介護人材の確保について			① 県では、平成30年度から介護人材の確保に本腰を入れるようであるが、本市の介護人材の現状と、不足した場合の人材確保の方策は考えているのか。考えているとすれば、どのような内容か伺う。			
5	道路網の整備について			① 安全安心な道路交通の確保という観点からと、平成27年2月の市長の施政方針では、「八正寺久保田線」については、基本設計が完成し、中心市街地の活性化や地域交通の一層の利便向上を図るため、詳細設計の策定を進めて行く旨の方針が示されていたが、既に3年を経過している。事業の早期着工を望むものであるが、現在の計画の進捗状況を伺う。			
6	花輪第一中学校の大規模改造工事について			① 今回の大規模改造工事とあわせ、学校までの通学路（沢小路方面の道路が狭隘で側溝に蓋がない等）の整備や、生徒の安全安心を考えると、スクールバスの乗降場所（待機場所）は、学校敷地内に整備されるべきと考えるが、それらの整備も計画されているのか伺う。			

平成30年第3回鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	2	会派名	清風会	代表質問者	中山 一男	質問所要時間	60分
質問事項			質問要旨				
7	文化財の保存・伝承について						
	(1) 花輪ばやし屋台改修の早期実現について		① 鹿角花輪駅前広場整備事業の取り組みが始まる中で、全屋台の改修計画を前倒しして、少しでも早く改修を終える方法を検討するべきと考えるがいかがか。また、財源としてふるさと納税の対象となる「ガバメントクラウドファンディング」なども検討してみてはいかがか伺う。				
7	(2) 大日堂舞楽への支援について		① 大日堂舞楽は、今年は舞楽が伝承されてから1300年の節目にあたり、さまざまな行事を予定していると聞いているが、花輪ばやし同様、ユネスコ無形文化遺産として、市として人的・財政的支援等を行う考えがあるのか伺う。				
8	大湯環状列石の世界文化遺産登録の推進について						
	(1) 遺産登録に向けた動きについて		① 現時点での登録に向けた動きはどうなっているのか伺う。				
	(2) 遺跡を分断している県道の移設について		① 大湯環状列石の魅力を高めるためには、県道の移設は大変重要なことであり、移設の有無についてはそろそろ結論を出すべき時期かと考えるが、現在の進捗状況はどのようになっているのか伺う。				
	(3) 遺跡内の熊対策について		① 遺跡内の熊対策について、どのような対応を考えているのか。また、市の植樹祭により、熊が身を潜めやすい環境ができていくことも懸念されるが、これについてもどのように対応されるのか伺う。				

平成 3 0 年第 3 回鹿角市議会定例会代表質問

No.1

順位	3	会派名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分	No.1
質 問 事 項				質 問 要 旨				
1 第6次総合計画の推進について (1) 目標人口を確保できるか (2) 市民所得の向上と経済の好循環について (3) まちづくりの基本理念「共動」について				① 計画最終年である 2020 年度の目標人口は3万人台の確保であるが、現状から判断して達成できる見込みか。達成できる見込みだとすれば、これまでの施策がどう反映した結果と捉えているか。また、今後の進め方について伺う。 ② 市長は、直近数年の「市民一人当たりの市民所得」の推移をどのように捉えているのか伺う。 ③ 地域経済活性化のためには、基本的には域外の資金を獲得しなければ、地域内で保有する資金の総額は増えない。域外への販売を主体とする産業、または、域外からの誘客を主体とする産業の振興が必要であり、市民所得の向上に効果的に反映するのではないかと考える。この点について、どのように考えているか。また、そのための産業振興策をさらにどのように強化するのか伺う。 ④ 地域経済において、経済の好循環を実現するためには、企業の利潤を投資に向けるほか、労働者の賃金増に充てて個人消費の拡大を図らなければならない。そこで、市民所得を分配という側面から捉えた場合、「雇用者報酬」と「企業所得」の比率について、最近の推移をどのように受け止めているのか伺う。 ⑤ 中心市街地の賑わい創出について、新しく人々の回遊をつくって商店街の賑わいにつなげようとする姿勢、徹底的に活用しつくそうという姿勢が弱いように思う。これは誰が主体的に担うべき部分なのか。まちづくり全体のマネジメントやハードの整備は行政が行うべきであると考えているが、賑わい創出などソフト事業を実施するのは商店街や商業者の役割であるとも考える。ソフト部分の展開について、十分に行われていると行政は見ているのか伺う。				

平成30年第3回鹿角市議会定例会代表質問

No.2

順位	3	会派名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
2 鹿角市に帰ってきたくなる地域づくりについて				② 市道除雪作業等の委託について、最近の社会経済情勢により各事業所ではオペレーターの確保が容易でない様子である。市道以外の各種除雪作業と市道の除雪作業を合わせて自治会に委託し、実績に応じて市道除雪委託料等を自治会に支払うという考えはないか。オペレーターや除雪機械などの確保が可能で、さらに作業の受託を希望する自治会に限られるが、冬季の有事の際、除雪が必要になった場合には、業者が回ってくるのを待つよりも自治会の方が速やかに対応でき、通常の除雪作業においても各家庭の実情を把握しているため、それぞれ最適な除雪サービスを提供できると思われる。今後とも労働者の減少が予想される中で有効な手法だと思いがどうか伺う。			
(1) 大学で学んできた専門分野や経験してきた職業につくことについて				① 市内には大変高度なノウハウを必要とする仕事をしている企業や、先端技術産業もある。しかし、その現状は市民にあまり知られていないように思う。市内の企業が必要としている人材、つまり、どのような専門分野の人材を、あるいは、どのような資格や経験のある人材を何人必要としているかを含め、市内の求人情報一覧を作成して市民や市内出身の大学生、市外で働いている方々に届けることが必要だと思いがどうか伺う。			
(2) 鹿角に帰って働きがいのある仕事を見つけて、生きがいをもって家族と暮らすことについて (大学生や転出者からは「鹿角に帰りたい」「帰ってもいい」とまた、親からは「鹿角に帰ってきてもらいたい」と思ってもらえる施策事業について)				① 市では、男女の出会いから子育てまで支援しており、子育て支援は県内でもトップクラスの手厚い支援をしてきたが、最近はおとんど市の町村が肩を並べてきたように思う。今後とも、子育て支援での優位性を保つためには新しい支援策が必要だと思いがどうか伺う。 ② 学校教育について、人口減少が学校統合などの課題にもつながっている。大学進学や市外の就職で市から転出しても、いずれ市に戻るということは十分に意義があり、生きがいもあるのだという心を育むための教育を何かしているのか。また、市内の小中学校に入ってから良かったと子供からも親からも思ってもらえていると自負するものはあるのか伺う。			

平成 3 0 年第 3 回鹿角市議会定例会代表質問

No.3

順位	3	会派名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	6 0 分
質 問 事 項				質 問 要 旨			
3. 将来都市像の実現に向けた行政運営について（後期基本計画で掲げている、行政経営の方針の 3 点について） （1）政策評価による業務の改善				③ 雇用確保について、働き方改革の中には、長時間労働の是正と非正規から正規への待遇改善なども含まれているが、このような改革を市内企業に実施してもらうことは、市内で働くことへのプラス効果になると思う。このことについて、行政が企業に対して実施を働きかけるべきと思うがどうか伺う。 ④ 高齢者福祉について、国の社会保障費において高齢者福祉財源であった消費税の一部を子育て支援の財源に回した。これまでの高齢者福祉施策で、高齢者のニーズは決して満たされていない。財源充当額の相対的な比較をして多いところを削るのではポリシーが無さすぎる。鹿角市はそうあってはならないと思っているが、高齢者向けの新規事業、あるいは既存事業を拡充したものはあるかどうか伺う。 ⑤ 住居に関する支援について、Uターン者の一部を除くと転入者のほとんどは住居を必要とするが、住居が決まらないために移住が実現しなかった例は無かったか。また、住居の確保に対する支援をさらに強化する考えはないか伺う。 ⑥ 鹿角市は全国的な知名度が低い。知名度をもっと高めて市出身者がこれまで以上に、ふるさとを自慢して誇りに思えるようにしたいと思う。その方法の一つとして、葛飾区との交流の多様化を推進して、葛飾区民に鹿角市を知ってもらうことは有効な方法と思うが、新しい交流の展開は考えているか。また、世界的に評価を受けた「花輪ばやし」をこの機会に市の観光物産宣伝とともに全国ツアーを行うことも効果的だと思うがどうか伺う。			
				① 政策評価による業務の改善について、市の政策評価はどのように行われているのか。複層的に行われているのか。また評価により、以降の政策や事業に反映されたものは、これまであったのか伺う。			

平成30年第3回鹿角市議会定例会代表質問

No.4

順位	3	会派名	誠心会	代表質問者	倉岡 誠	質問所要時間	60分
質問事項				質問要旨			
(2) 行政改革による業務の改善				① 行政改革大綱に基づく実行計画への登載の有無にかかわらず、行政改革という視点から質問するが、臨時職員や非常勤職員は、窓口対応などでもしっかりと丁寧に対応しており、行っている業務は正規の職員と変わらないと思っている。そこで、同一労働同一賃金という観点から、管理的な事務については正規職員の立場にあるものが行うべきであるが、それ以外の事務について、正規職員と業務上一線を画しているところはあるのか。あるとすれば、どのようなことか伺う。 ② 市では、行政事務は多様化し、さらに複雑で専門性も増しているので職員定数は当面大きな変化はないとしている。しかし、人口減少は今後も続き、いずれ1万人台になることも想定されており、当然財政規模も縮小せざるを得ない。いずれ組織のスリム化も図らなければならず、それをどのような手法で可能にするのかは大きな検討課題だと思うが、どう考えているのか伺う。 ③ サービスの質の向上の一つとして「指定管理制度」の導入がある。現在、市の指定件数は何件あるのか。また、市が直営するよりも、施設の設置目的を達成する上でメリットがあったのはどのような点か伺う。			
(3) 市民に開かれた行政運営の推進				① 市民に開かれた行政運営の推進について、行政を運営するに当たって公正と透明性を確保することは基本であるが、これらは、日頃どのようにして確保されているのか伺う。			
(4) 内部統制について				① 平成29年の地方自治法の改正の1つとして、「内部統制に関する方針の策定」が新たに定められた。これは全国的に不祥事が後を絶たないことから、情報漏洩や不正会計を防ぐ体制づくりのために都道府県及び政令指定都市に対して内部統制に関する方針の策定と必要な体制の整備を義務付けたものである。政令指定都市以外の市及び町村は努力義務とされているが、自ら積極的に策定して不祥事の発生防止に対する姿勢強化を図るべきではないかと思うが、考えを伺う。			